

岡林かおるの ひまわり NEWS NO.27



2011年 夏号

ごあいさつ

毎日暑い日が続いておりますが、皆さまお元気でしょうか？

市民の皆さまには、日頃から温かいご支援を賜り本当に有難うございます。

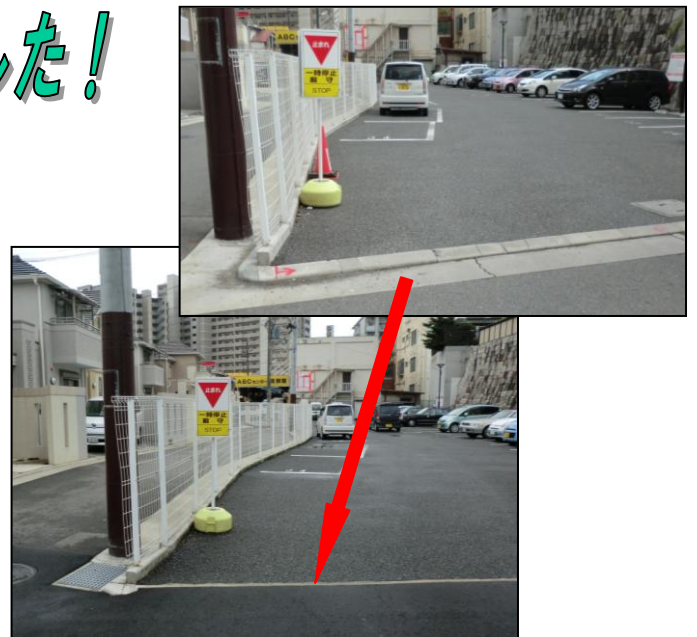
さて、3月11日に発生した「東日本大震災」から4か月が経過し、復旧・復興に向けた取り組みが進められておりますが、今なお多くの方々が不自由な生活を余儀なくされています。本市におきましても、これまでの防災対策を見直し、さらなる安心・安全のまちひらかたの構築に取り組まなければなりません。

今回、私は6月度定例議会におきまして、防災施策やがん対策など「市民の命と健康を守る」施策を中心に質問させて頂きました。主な内容は次ページに掲載させて頂いております。これからも皆さま方が安心して暮らせる枚方のまちづくりに全力で頑張っまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

皆さまのご要望にお応えしました！



危険箇所にカーブミラーを設置しました。
香里ヶ丘8丁目27付近



ABCセンターの駐車場入り口に段差があり車の振動音が激しいとの声があり市に要望し段差をなくしました。

議会報告

改選後初の、6月度定例議会におきまして、一般質問をさせていただきました。
主な内容をご報告させていただきます。



被災者支援システムについて

質問	答弁
被災者支援システムは、住基情報、家屋台帳、被災状況をリンクさせて罹災証明書を発行でき、支援金や義援金の交付、支援物資の管理、仮設住宅の入退去など一元的な管理ができる。導入すべきだと思うが見解を聞く。	早期の導入を目指していく。

待機児童の解消について

質問	答弁
保育所の民営化は、経費削減という効果と、削減した経費を待機児童解消のための整備などに回すことができ、待機児童の解消に寄与できる。実施時期や実施園など、具体的な年次計画をいつ示すのか	今示している公立保育所の民営化（平成16年・宇山保育所、24年・蹊跼保育所、25年・小倉保育所）以外、4か所目以降の実施時期や実施園などは今年度中に示す

新市民病院について

質問	答弁
女性特有の乳がん・子宮頸がん検診について、女性医師・女性技師のさらなる確保を要望、また、がん治療の経過の中で精神的なケアもできる体制を	女性医師の配置に努めるとともに、精神症状の緩和を担当する医師の確保についても努力する。

がん教育について

質問	答弁
今後、2人に1人ががんになる時代を生き抜く子ども達にはがん教育が必要。日本対がん協会からDVD「がんちゃんの冒険」が制作された。中学3年生希望者には無料で配布されるが本市においても活用してはどうか	「がんちゃんの冒険」は啓発活動に有効である。各中学校の導入の仕方について検討していく。

(仮称) ヒラカタ大学について

質問	答弁
まちづくりに市民が直接参加する事はとても重要であり、特に若者が参画し、その核になって市民を巻き込みながら、自分たちでまちの未来を築いていく、以前に紹介したシブヤ大学ならぬヒラカタ大学のように発展させていってはどうか、また自治基本条例の制定について見解を聞く	コミュニケーション・カフェや五六市など学生や若者が参加しやすい仕組み、環境づくりを若者の意見を聞きながら検討していく。また、本市は中核市を目指しており、市民の意見を施策に効果的に反映させることが重要であり、その為にも自治基本条例の制定について検討していく。

BCP（業務継続計画）について

質問	答弁
地震や水害、新型インフルエンザのパンデミックなど、大規模な災害や不測の事態が発生しても、企業や団体が重要な業務を早期に復旧し、継続できる体制を整えるために策定される計画。本市のBCP策定の見解を聞く	地震対策に係るBCPについては、平成22年から大阪府が呼びかけたワーキングチームに参画し、調査・研究を進めていく。

公立学校の防災機能の向上について

質問	答弁
学校施設は地域住民のための避難所ともなる大事な役割を担っている。本市の公立学校施設の防災機能の整備状況について伺う。また分散備蓄・備蓄量の完備の要望	本市の災害用備蓄品は、平成20年度に見直した地域防災計画に基づき、アルファ化米や毛布等の重要物資8品目の備蓄目標量を定め、21年度から5ヶ年計画で購入していたが、今回の大震災を踏まえ、今年度中に備蓄目標量を確保することとした。また、避難所運営のために、当面必要と考えられる発電機や投光器などを緊急に確保していく。

ひきこもり対策について

質問	答弁
ひきこもりは2030年問題として、専門家が警鐘を鳴らしている。全国推定約70万人いるとされ、枚方市においては約2200人と推定される「子ども・若者育成計画」を策定し、早急に訪問支援など取り組みが必要と考えるが見解を聞く。	市内の関係機関が協力・連携するための本市独自の協議の場を設立する。できるだけ早期に「子ども・若者計画」を策定する。

その他、CSR（企業の社会的責任）について・乳幼児医療費助成について・多胎児支援について・デージー教科書について・動物と共生するまちづくりについて・シルバーパワーを生かした地域活性化の取り組みについて公共料金の支払いについてなどについて質問しました。

活動フォト



**6月4日（土）
大分駅前（仮称）複合文化交流施設現場を視察しました！**

**6月4日（土）
大分「みんなの広場とんとん」を視察しました！
NPO法人「みんなの広場とんとん」は地域の子ども達や、障がいを持つ子どもとお母さんにホッとできる場を提供したいとスタートされた教室です。**



ひらかた情報スポット

☆予防接種の対象を拡大☆

◇麻しん・風しん（MR）第4期

修学旅行や学校行事などで、海外に行く高校2年生相当の人が6月1日から新たな対象になりました。（今年度のみ）

所属高校または市の証明書を持って取扱い医療機関で接種。無料。要予約

◇日本脳炎

接種後に重症事例が出たため、平成17年度～21年度に予防接種を受けられなかった平成7年6月1日～19年4月1日生まれの人が、4歳～20歳未満に定期予防接種として接種可能になりました。1期3回、2期1回の接種が終わっていない人は、母子健康手帳を持って取扱い医療機関で接種。

2期は9歳以上。無料。要予約。詳細は各医療機関へ。

TEL 840-7221 保健センター



☆マルシェ・ひらかた&夕べの市☆

7月23日（土）午後4時～8時 岡東中央公園

市内で生産された新鮮な野菜を農家が直接販売。市内商店や企業のこだわり商品も並びます。夏休み企画として飲食ブースやゲームコーナーなども。

☆ホストファミリーボランティア募集☆

9月24日の友好交流音楽祭に出席する枚方市の友好都市オーストラリア・ローガン市の学生に1部屋と朝・夕の送迎・食事を提供できる家庭を募集

◇期間 9月18日（日）～25日（日）

◇申し込み 7月14日～8月9日に電話またはファックス・電子メール
（氏名・住所・電話番号を明記）抽選で36世帯

詳細は枚方市文化国際財団へ



発行は枚方市議会議員 岡林かおるです。

市議会:072-841-1221(市役所4階公明党控室)

連絡先:072-841-6371 FAX:072-841-6370

e-mail: kaoru_himawari2010@yahoo.co.jp

URL: <http://www.sunflower-kaoru.com>